

【記載例】

申立書

令和 3 年 7 月 1 日

弘前市長 殿

所有者 住所 弘前市大字駅前〇〇番地△
氏名 弘前 城太郎

氏名を本人が手書きしない
場合は押印が必要です

このたび、私が建築し、又は取得しました下記の家屋は現在のところ未入居の状態にありますが、自己の居住の用に供するものに相違ありません。

記

1. 家屋の表示

所在地 弘前市大字 上白銀町〇△番地□
家屋番号 〇△番□

2. 入居予定年月日 令和 3 年 7 月 15 日

3. 現在の家屋の処分方法 例： 売却

4. 入居が登記の後になる理由
例： 抵当権設定登記を急ぐため

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。